

第8回東京都議会議員調査 津田塾大学中條研究室

津田塾大学総合政策学部・中條研究室 2年セミナー（10人）は、2018年より毎秋、都議会議員の皆さまの議員としての活動の様子や政策に対するご意見をお伺いしており、この度、8回目の調査を実施いたします。過去の調査におきましては、お忙しいところ多くの方にご協力いただき改めて感謝申し上げます。研究成果は下記ウェブサイトに記載されております。

本調査は教育・研究目的で実施いたします。分析の都合上、お名前をご記入の上でのご回答をお願いいたします。皆さまのご氏名と回答内容を紐づけての一般公表はいたしません。研究上の発表におきましても、皆さまの不利益にならないように細心の注意を払うこととお約束いたします。研究成果は、2025年度末に下記ウェブサイトにて公表予定です。

ご多忙のところお手数をおかけしますこと大変恐縮に存じますが、**2025年11月15日（土）**頃までに回答いただけましたら幸いです。調査へのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

研究代表:津田塾大学総合政策学部 准教授 中條美和
<https://whogoverns.tsuda.ac.jp/sophomore>

回答方法は2通りございます。

- A. この調査票に直接回答を記入いただき、同封の返信用封筒にて郵送
- B. 右記のQRコードを読み取る、もしくは下記URLにアクセスしていただき、ウェブサイト上で回答を入力



⇐こちらから回答いただけます

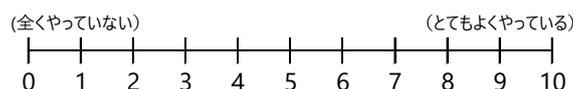
https://tsudacps.qualtrics.com/jfe/form/SV_9H5UpQKKKYBzCMm

氏名		属性情報が分析に必要なため、氏名のご記入をお願いいたします
----	--	-------------------------------

* 過去にもお聞きしました質問がいくつかございます。お手数おかけしますが、新たな議員も加わり、また分析に必要なため、再度ご回答いただけますよう切にお願い申し上げます。

I. 政策評価についてお聞きします。

Q1. 現在の東京都知事の仕事ぶりについて、0（全くやっていない）から10（とてもよくやっている）とすると、あなたの評価は何点でしょうか。

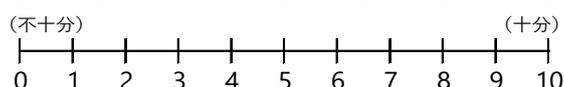


Q2. 東京都の子育て支援政策について、0（不十分）から10（十分）とすると、どの程度評価されますか。



Q3. 少子化対策として効果が大きいとお考えの政策を1つご記入ください。
（自由記述）

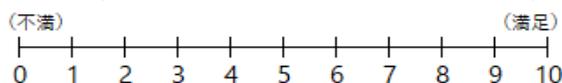
Q4a. 日本国籍を持たない日本在住者に対する東京都の福祉制度について、0（不足している）から10（十分に行き届いている）とすると、あなたの評価は何点でしょうか。



Q4b. よろしければ、上記に関するご自身の見解をお聞かせください。

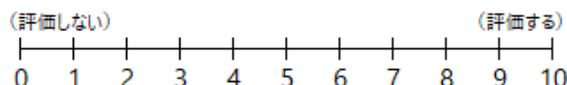
（自由記述）

Q5a. 東京都の**東京一極集中**への取組に対して、どの程度満足していますか。0（全く満足していない）から10（非常に満足している）とすると評価を数字でご回答ください。



Q5b. 首都圏他県（神奈川県・千葉県・埼玉県）と比較して、東京都の優位性または課題について感じていることがあれば、ご自由にご記入ください。
（自由記述）

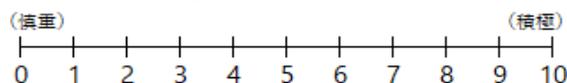
Q6a. 現在の東京都の**老朽インフラ対策**について、0（評価しない）から10（評価する）とするとどの程度評価しますか。数字でご回答ください。



Q6b. 老朽化が特に深刻だとお考えのインフラはどれですか。強いて言えば1つお選びください。

道路・橋梁、 上下水道、 学校・公共施設、 港湾・河川施設、
電力・ガス等のエネルギーインフラ、 その他（具体的にご記入ください） _____

Q7. 政策形成・行政サービスにおいて**AI技術**の活用はどの程度進めるべきだとお考えですか。0「活用には慎重であるべき」から10「積極的に導入」とすると、あなたのご意見はどの位置になりますか。



II. 税制・労働時間など行政関連についておたずねします。

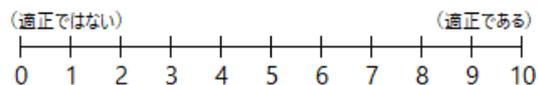
Q8a. 今後10年間を見据えた**都税**制度の見直しについて、以下の各税についてそれぞれ1つお選びください。

個人事業税	現状維持が妥当	新たに導入または拡充が必要	廃止または縮小が適切
自動車税	現状維持が妥当	新たに導入または拡充が必要	廃止または縮小が適切
不動産取得税	現状維持が妥当	新たに導入または拡充が必要	廃止または縮小が適切
軽油引取税	現状維持が妥当	新たに導入または拡充が必要	廃止または縮小が適切
法人事業税	現状維持が妥当	新たに導入または拡充が必要	廃止または縮小が適切
宿泊税	現状維持が妥当	新たに導入または拡充が必要	廃止または縮小が適切

Q8b. 上記以外の都税についてのご意見やその他補足があればお教え下さい。
（自由記述）

Q9a. 以下の方々現在の**労働時間**について、「業務内容・負担・健康への影響などを総合的に見て適正かどうか」を0（全く適正でない）から10（非常に適正である）で評価してください。

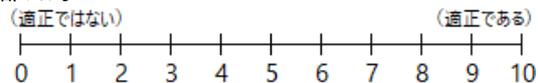
都庁職員



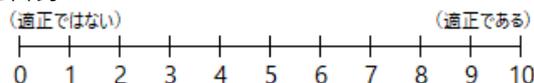
都教員



都知事



ご自身



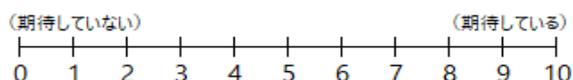
Q9b. よろしければ、ご自身の勤務体系についてもお聞かせください。
（自由記述）

Q10. 社会保障制度の維持のため、現役世代ではなく高齢世代への負担の割合を引き上げるべきだと考えますか。該当するものを1つお選びください。

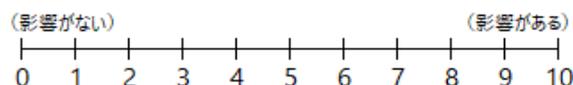
1. 高齢者の負担を引き上げるべき
2. どちらかといえば高齢者の負担を引き上げるべき
3. どちらともいえない・現状維持
4. どちらかといえば高齢者の負担は引き下げるべき
5. 高齢者の負担は引き下げるべき

III. 政治・国政関連についておたずねします。

Q11a. 高市総理大臣にどの程度期待していますか。0（全く期待していない）から10（とても期待している）の数字で評価してください。

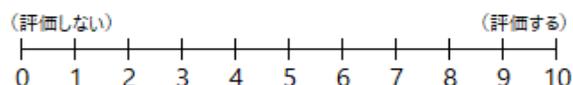


Q11b. 石破首相から高市首相への交代は、東京都政にどの程度影響があるとお考えですか。0（全く影響がない）から10（大いに影響がある）の数字で評価してください。

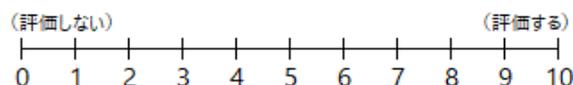


Q11c. よろしければ、上記評価の理由をお聞かせください。
（自由記述）

Q12a. 東京都による物価高騰対策（食料品・エネルギー価格への支援など）の内容や効果について、どの程度評価されますか。0（全く評価しない）から10（評価する）の数字で評価してください。



Q12b. それでは、国による物価高騰対策についてはどう評価されますか。

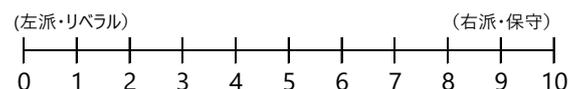


Q13a. 都内で排出されるプラスチックごみの削減目標を達成するため、都民に対して有料化の拡大や分別厳格化など新たな取り組みを導入することは必要と考えますか。該当するものを1つお選びください。

はい どちらともいえない いいえ

Q13b. よろしければ、その理由をお聞かせください。
（自由記述）

Q14. 異なる政治的立場を表すとき、「保守」と「リベラル」、あるいは「右派」と「左派」などと表現することがあります。もっとも右派・保守的な立場を10、もっとも左派・リベラルな立場を0とすると、あなたの政治的立場はいくつになりますか。（時系列分析に必要なため、例年同じ質問となっています。）



Q15. 他道府県で実施されている政策や取り組みの中で、特に興味深い、参考になる、または効果的だと思うものがあれば具体的にお教えてください。
（自由記述）

IV. あなたご自身のことや政治活動についてお聞きます。

Q16a. 現在、議員のほかにお持ちの職業があれば教えてください。（例：医師、会社経営など）
（自由記述）

Q16b. もし資格をお持ちであればご記入ください。（例：税理士、教員免許、保育士など）
（自由記述）

Q16c. 議員になる前の主な職業は何でしたか。
（自由記述）

Q17. ご自身が**何歳**の時に政治家になることを志しましたか。もしくは立候補を決意しましたか。
（数字で自由記述）

Q18. ご親族に政治家または政治家経験者がいらっしゃいますか。

いいえ はい（可能であれば関係性をご記入ください） _____

Q19. ご自身のこれまでの生活の中で議員活動に最も影響を与えた経験や出来事があれば教えてください。
（自由記述）

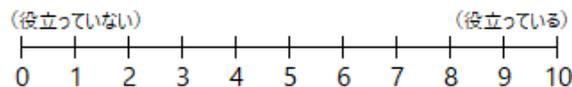
Q20. あなたの政治活動において、最も力を入れている SNS を 1 つ教えてください。（複数ある場合でも、最もよく使うものを 1 つだけお選びください。）

Instagram, X, YouTube, TikTok, Threads, ブログ (note 等), Facebook, LINE,
その他（ご記入ください） _____

Q21. 現在、都議会議員として SNS での発信頻度はどのくらいですか。

1 日に数回 1 日に 1 回 1 週間に数回 1 週間に 1 回 それ以下

Q22a. SNS は都議会議員の活動に役立っていると思いますか。0（全く役立っていない）から 10（とても役立っている）で評価してください。



Q22b. 上記の評価の理由や、SNS 活用における工夫、課題、今後の展望などがあればご自由にご記入ください。
（自由記述）

最後まで調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。この調査票を返信用封筒にお入れいただき、同封しました切手シールを貼り付けの上、投函くださいますようお願い申し上げます。なお、本調査についてのご意見、ご感想などがございましたら、以下にご自由にお書きください。調査へのご協力、重ねて御礼申し上げます。

津田塾大学総合政策学部 准教授 中條美和・2 年セミナー学生一同
151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24
TEL: 050-3605-0083(直通) FAX: 03-6734-0780(直通)
Mail: mnakajo@tsuda.ac.jp
Website: <https://whogoverns.tsuda.ac.jp/sophomore>

